ふじもり形成外科
Fujimori prs

二重まぶた手術　説明・同意書

【目的】皮膚と皮下組織を癒着させることにより、へこみを作り、二重まぶたの線を形成させます。

【手術内容】

＊埋没法は術後に後戻りすることが多く、まぶたの薄い皮膚の下に糸が残ることで異物反応や合併症を引き起こすことが比較的多いため当院では埋没法はおこなっておりません。埋没法を希望される方には小切開法をおすすめしています。

1. **小切開法（2 点）**
   二重まぶたの線をつくる位置に 3 ～5 mm の皮膚切開を 2 箇所行います。線は 2 点で決まるため、3 点以上の切開を行うと不自然な形状になる可能性が比較的多く、推奨していません。切開部分の筋肉や脂肪を一部切除し、皮膚をまぶたの裏の軟骨（瞼板：けんばん）に細い糸で縫合します。抜糸は術後 7 日目ごろに行います。
2. **全切開法**
   皮膚のたるみが大きい方や、腫れぼったいまぶたの方に適しています。二重まぶたの線に沿うように皮膚を切除します。筋肉や脂肪組織も少し切除した後、皮膚をまぶたの裏の軟骨（瞼板：けんばん）に細い糸で縫合します。抜糸は術後 7 日目ごろに行います。
3. **内眼角形成（目がしら切開）**
   目がしらの皮膚が厚く被っている場合、二重まぶたの形成が難しいことがあります。その場合は、目がしらの皮膚をジグザグに切開し、皮膚を広げる必要があります。一部の筋肉を切除し、皮膚を目がしらのじん帯（内眼角じん帯）に縫着します。抜糸は術後 7 日目ごろに行います。

【合併症とリスク】

1. **出血、血腫**：手術後の出血を予防するために 2 日間は自宅で安静にし、保冷剤などで十分し冷やしてください。出血が起こり、なかなか止まらない場合には再度処置が必要なことがあります。血腫（血の塊）が形成されても通常は吸収されますが、処置が必要なことがあります。
2. **腫脹、出血斑**：術後はかなり腫れます。腫れ、青あざを予防するために 2 日間は自宅で安静にし、保冷剤などで十分し冷やしてください。腫れや青あざは通常術後 3 週間程度でおさまります。
3. **キズが開く**：　ぶつけたりこすったりするとキズが開き、再度処置が必要なことがあります。
4. **感染症**：手術部位が感染する可能性があります。感染症が発生した場合、抗生物質の投与や追加の治療が必要になることがあります。
5. **後戻り**：二重まぶたの線が消えてしまうことがあります。
6. **左右差**：手術後に左右のまぶたの高さや形が異なることがあります。術後 3 カ月ことが多いですが、再度手術が必要になることがあります。
7. **瘢痕形成**：手術後キズあとは赤く目立ちますが通常は徐々に目立たなくなります。瘢痕が目立つ場合には、追加の治療が必要なことがあります。
8. 御自身の思い描いている結果にならないことがあります。

$PATIENT_ID$　　$PATIENT_NAME$

（説明メモ）

二重まぶた手術　同意書

□小切開

□全切開

□内眼角形成（目がしら切開）

説明日　　年　　月　　日　説明医師：＿＿＿＿＿＿＿＿

●施術前後写真などを「医学教育」や「研究目的」など学会論文発表で使用することがあります。

●施術前後写真やなどを院内説明写真やウェブサイト等掲載写真として使用することがあります。

（写真は施術部位のみで個人が同定されないよう、ぼかし加工等を行います。一度承諾しても、再度拒否することはできます。）

□　上記に同意されない場合はこちらにチェックをしてください。

やむおえない場合を除いた手術当日のキャンセルは費用が発生する場合がございます。

キャンセルポリシーについてはホームページをご参照ください。

私は、手術の内容および起こりうるリスクを理解したうえで上記手術について同意いたします。

同意日　　年　　月　　日　患者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

代諾者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿（続柄）＿＿＿＿＿＿

<未成年の方>　親権者の同意が必要となります。　※下記事項は親権者ご本人がご記入ください。

私は、申込者の法的代理人として、貴院での申込者の上記施術および手術に同意いたします。

親権者名		続柄	
住所			
電話番号			